

第11回 令和3年度 第1回 地域密着型通所介護運営推進会議録

事業者名	株式会社 修峯		
住所	長崎市布巻町534-1		
事業所名	デイサービス 花いちもんめ		
住所	長崎市布巻町534-1		
サービス種類	地域密着型通所介護		
開催日時	令和3年10月7日(木) 18:00~19:00		
開催場所	サービス付き高齢者向け住宅 ラピナスの園		
出席者	入居者	1名	
	事業所職員	代表取締役：松尾修一、施設長：松尾峯子 田中利英子、田中佐代美、植田智津子 小林千鶴、一ノ瀬祥子	
議題	1. 新型コロナウイルスの感染拡大防止による運営推進会議中止について 2. 施設の現況報告 3. 施設の方針 4. ご利用者のご要望 5. その他		
会 議 録			
<p>1. 第11回令和3年度第1回地域密着型通所介護運営推進会議の中止について</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催を予定しておりました運営推進会議につきまして、コロナ禍の事情により、感染予防のため開催を中止させていただくことになりました。誠に申し訳ございませんが、会議報告につきましては書面で確認していただきたく、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。 <p>2. 施設の現況報告</p> <p>【入居報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在満室、入居者数 20名 (男性：6名/女性：14名) 内訳；要介護5 9人 要介護4 4人 要介護3 5人 要介護2 1人 要介護1 0人 その他 1人 <p>【事故防止委員会について】</p> <p><ヒヤリハット></p> <ul style="list-style-type: none"> 4/20~7/19迄 5件 (転倒：4件、右前腕皮膚剥離：1件) <p><今後の対応・方針></p> <p>転倒：体力低下があり、転倒リスクが高いご利用者は迎えに行くようにする。 居室にセンサーを置く場合、ご利用者の動きを予測して、センサーを配置する等工夫が必要です。 介護者が離れる際は、ご利用者に安定した体位をとって頂き、“安全を確認してから”と再認識して行う。</p> <p>右前腕皮膚剥離：ぼんやり感がある方は、見守りをその都度した方が良い。</p> <p><事故報告> ありませんでしたが、今後も事故防止に取り込んでいく。</p> <p>【身体的拘束適正化検討委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4/20開催 2件 身体的拘束解除に向けた検討： <ul style="list-style-type: none"> 現在2名の該当者があり、各々身体拘束に関する同意書を頂いています。 検証・再確認し、引き続き経過観察を継続することを確認した。 ベッド柵について、右側に動かれる事が多いので、昼間のみベッドの左側の足元の柵を外す。 			

・7/19開催 2件

身体的拘束解除に向けた検討：

- ・現在2名の該当者があり、各々身体拘束に関する同意書を頂いています。
 - ・車椅子の安全ベルトはまだ危ないので、現状維持で様子を見る。
ピーパーをきちんとする。転倒や転落が起きにくい環境づくりをする。
- スタッフ全員で助け合える態勢づくりをし、引き続き経過観察を継続することを確認した。

【感染対策委員会について】

<施設内感染症の予防対策について> 5/20開催

- ①基本的な考え方：感染症は生命に係わる重要な疾患で、高齢者は感染症が起きやすく、
集団感染、集団食中毒が発生することがあるので、施設又は介護担当者側が十分に配慮する。
- ②感染経路の遮断：感染源（病原体）を持ち込まない、広げない、持ち出さない
<平常時の衛生管理>・環境整備、排泄物の処理、食事介助
<感染症を予防するためには>ケア・手洗いの徹底、日常のケアにおいて利用者の異常の早期発見
- ③ケアにおける感染予防
高齢者は抵抗力の弱い臓器から感染症を発症
病気や原因となる細菌感染などに抵抗力を持つことが大事
感染源を早期に発見し、隔離したり、除去・撲滅を図ることが大切
患者よりも無症状の保菌者のほうが注意を要する
感染症の可能性のあるものとして扱うべきものには、“血液” “体液” “分泌物” “排泄物”
“傷” “粘膜”
- ④まん延防止
日常的な予防対策強化が必要
利用者の居室清掃・棚や引き出しの整理整頓が必要
今後も感染症の予防対策に取り組んでいく

<新型コロナのクラスターが発生した場合の5つの課題について> 8/18開催

～宮崎医療生協の介護施設（宮崎市）の経験から得た課題～

- ①陽性患者の入院先が見つからなかったことについて
・平素より地域の医療機関との連携をとり、情報を共有する。
- ②介護従事者の支援について
・介護施設では職員が感染して多くの欠員が生じてても行政による直接的な支援制度は無し
- ③ゴミ問題について
・クラスターが発生した施設内のゴミは全て「感染性廃棄物」の扱いになり、業者も回収に難色を示した。
・个人防护具などの廃棄量が膨大で取り扱いに困り、やむを得ず屋外に保管場所を設けた。
・回収業者からは、感染対策としてゴミの回収日を週3回から2回に減らされたうえ、追加料金も請求された。
- ④職員の慰労金について
・介護施設で感染者濃厚接触者が生じた場合、政府は職員に20万円の慰労金支給が決定したが、この制度は昨年6月で打ち切れ、以降は支給できなかった。
- ⑤施設への補助金について
・介護施設内でコロナの患者が確認された場合、个人防护具をはじめ職員の残業代やホテル代などの経費がかかり、この補助金では足りない。
・利用者が通常に戻り経営が回復するまでは、かなりの時間がかかり、何らかの支援がないと小さな介護事業所は地域から撤退することになりかねない。

※今後も感染症の予防対策に取り組んでいく

3. 施設の方針

【新型コロナウイルス感染による面会制限について】

- ・長引くコロナ禍でご家族の面会制限を余儀なくしていますが、ご家族へは状態変化時その都度電話で報告をして連携を取れるようにし、又、遠方の方にはビデオ電話でお話をして頂いたり配慮をしています。
- ・スタッフの退職により大変でしたが、残りのスタッフで協力し合っています。中でも厨房スタッフの応援体制が組めてカバー出来た事は良かったと思います。
また、体調不良で2名のご利用者が入院されました。病院では夜間せん妄などで大変だったようですが、早目の退院で帰所され、現在は落ち着いて生活されています。

《各事業所の報告》 R. 3. 4～R. 3. 9

【デイサービス花いちもんめ】

活動状況について

< 4月 > ガーデニング野菜を充実させようと、たくさんの野菜の苗を植えました。例年のきゅうり、トマト、ゴーヤ、オクラは勿論、今年はナス、ピーマンを追加しました。
初挑戦でしたが、栽培経験のある利用者からたくさんの助言を頂きながら、土づくり～苗植えまでを行いました。水やりも当番制にし、皆さんが野菜を観察できるよう取り組んでいます。

4/30 誕生日会 おやつレクリエーション：パフェ
男性1名 74歳
女性2名 94歳、87歳

< 5月 > 気候が良く、元気に過ごされていました。体を動かすレクリエーションを中心にし、機能訓練を充実させています。“歩く” “立つ” “坐る” などの生活機能動作の維持と向上を目指す取り組みを行っています。

5/18 誕生日会 おやつレクリエーション：野菜トマトゼリー
女性1名 95歳

5/17 創立記念：11周年を迎える運びとなりました。これもひとえに皆様のご支援と温かい激励のお蔭でございます。心より感謝を申し上げます。
12年目に入るにあたり、ご利用者およびご家族にとってより一層のサービス向上に努めてまいります。

< 6月 > 恒例の梅を使った創作レクリエーションを行っています。
今年は“梅干し”と“梅シロップ”を作りました。その他、手作りおやつを作っています。

6/5 誕生日会 おやつレクリエーション：どら焼き
女性1名 87歳

< 7月 > 七夕まつり 本物の笹に願い事を飾りました。ご利用者は浴衣や着物をお召しになって納涼を楽しみました。
その他、ナス、ピーマンなど育てた野菜が大豊作でした。毎日、収穫を日課にしていたご利用者もいらっしゃいました。野菜の栽培を通して活力がみなぎる様子が見られました。

< 8月 > 東京オリンピックが始まり、TV観戦を楽しんでいます。柔道の応援はとても盛り上がりしており、「もう見られないと思っていた」と人生最後(?)になるかもしれない貴重な時間を楽しみました。

8/6 誕生日会 おやつレクリエーション：スイカ割り大会
女性1名 87歳

< 9月 > 第12回敬老会を執り行いました。コロナウイルス感染症対策のため、今年も来賓を招かずご利用者をスタッフでお祝い致しました。
会食は、ランチバイキングをご用意しました。初めての試みでしたが、たくさんの料理に好きなものを選んで食べられると好評でした。
その後はレクリエーションを楽しまれ、楽しい宴になりました。

9月 誕生日会
男性1名 96歳
女性1名 87歳

※ 最後にこれらの様子をHPにて掲載しております。
その他お知らせや情報など更新していますので、チェックしてみてください。
LINEアプリにてTV電話面会サービスも行っています。
<https://www.hanaichi-monme.com>

【ヘルパーステーション花いちもんめ】

今回は3回シリーズで
・一般的な訪問介護の説明をさせていただきます。

訪問介護とは、介護保険制度における介護サービスのひとつで、利用者が居宅サービスを利用する場合に受けることのできるサービスです。

訪問介護のサービスを受ける場合、介護保険の被保険者は要介護認定によって要支援1、2または要介護の5段階の何れかに認定される必要があります。要介護申請によって自立(非該当)と認定された被保険者は、介護保険による介護サービスの利用はできません。

【サービス付き高齢者向け住宅 ラピナスの園 消防訓練について】

・コロナ禍のため自主消防訓練、施設内研修を行った。

【施設の防災訓練研修について】 4/13開催

<施設避難訓練Ⅰ> (自然災害対策)

- 1) 入所者等の避難誘導
- 2) 地震災害発生
- 3) 土砂災害や河川氾濫
- 4) 二次災害の発生

<施設避難計画Ⅱ> (自然災害対策)

- 1) 情報収集手段の確保
- 2) 職員や施設内外との連絡体制の整備
- 3) 職員の役割分担 (防災体制組織図に基づく)
- 4) 安全点検

※防災への意識を高めることができ、災害が起こった際の避難場所について情報共有できるようにする。ご利用者の組み分けをして災害発生時に主体的に行動することができるようにする。
災害が起こった際の地域とのつながりの大切さを理解でき、地域との連携については今後の課題である。

【施設の自主防災訓練について】 8/23開催

【内容】自然災害発生時における、入居者の避難・各班の役割分担の確認

- ①集中豪雨による土砂災害の危険が高まり、施設長より施設内避難の指示
- ②非常通報訓練
- ③デイルームへ避難開始を行った
- ④全員避難後点呼を行い、安全に避難完了したことを施設長へ伝達を行った
- ⑤各班の役割分担の確認を行った

- ※・集中豪雨による土砂災害を想定した総合的な訓練として、施設内及び関係機関への連絡、公休職員の非常呼集、施設デイルームまでの入居者避難等を実施。
- ・この度は、職員に対する詳細な訓練手順の指示は行わず、各部署のリーダーの判断指示に基づいて入居者避難を行った。デイサービス利用者も参加。
入居者と職員との連携を日頃から取れるようにし、昨今の自然災害への意識を更に高めることができた。

【研修について】

- ・リモート研修：①高齢者施設における新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関する研修会
②新型コロナウイルス感染症対策研修 ～レッドゾーンについて～
③令和3年度介護報酬改定後の実施指導対策のポイント
④令和3年度第1回長崎市在宅支援リハビリセンター（土井首・深堀・香焼・南部地区）研修会
：健康長寿に向けたフレイル対策 ー多職種連携の重要性ー
- ・施設内研修：①高齢者の送迎について ー注意点と方法ー
②熱中症、食中毒について
③急変時対応について
④ノーリフティングケアの取り組みについて
⑤ 認知症対応法 ～バリデーションについて～

4. ご利用者のご要望

【入居者様】

S氏 ・昨年よりコロナ禍による外出制限のため、運動不足になりがちで足がふらつくことがあります。朝のラジオ体操や、施設周辺の草木の手入れをしたり、施設の買物時に声を掛けて頂き一緒について行ったりして運動不足を解消しています。
現在、不安はありませんが、健康には注意したいと思います。

施設より⇒ S氏はいつもニコニコと穏やかな方で、積極的に施設周辺の草木のお世話をしており、手入れが行き届いた四季折々の草花に、コロナ禍で疲弊した気分を明るく前向きにしています。

5. その他

次回の第12回地域密着型通所介護運営推進会議は、サービス付き高齢者向け住宅ラピナスの園にて、令和4年3月に開催予定。